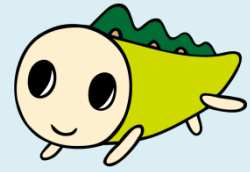




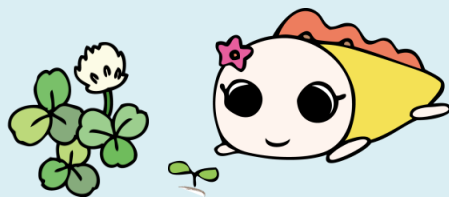
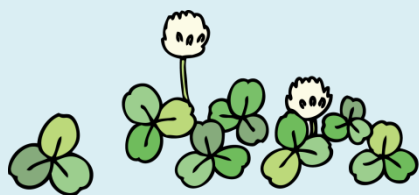
## 機器等解説



※助成金交付機器の要件は、リーフレットをご覧ください。

機 器	解 説	メリット	デメリット
<p>太陽光発電</p> 	<p>太陽光を利用して、太陽電池で発電する。</p> <p>太陽電池は太陽光を吸収して直接電気に変えるエネルギー変換器で、シリコンなどの半導体で作られており、光が当たると日射強度に比例して発電する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機器のメンテナンスが簡単。</li> <li>• 屋根や壁などの未利用スペースに設置可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 天候により発電量が左右される。</li> <li>• システム価格が比較的高い。</li> <li>• 建物の補強が必要な場合がある。</li> <li>• 導入後に、日照が別の建物等によりさえぎられることがある。</li> </ul>
<p>強制循環式 ソーラーシステム</p> 	<p>集熱器が屋根の上にあり、貯湯槽を地上に設置する。太陽のエネルギーを集熱器で集め、熱媒や空気などをあたためて、給湯や空調などに供給する。</p> <p>液体式と空気式がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作が簡単である。</li> <li>• エネルギー変換効率がよい。</li> <li>• 小さな屋根でも設置可能。</li> <li>• 屋根一体型等があり、住宅外観に優れる。</li> <li>• 暖房に利用することもできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 太陽熱温水器に比べシステム価格が高い。</li> <li>• 導入後に、日照が別の建物等によりさえぎられることがある。</li> </ul>
<p>自然循環式 太陽熱温水器</p> 	<p>太陽のエネルギーを集熱器で集め、水を直接あたためて、給湯に供給する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作が簡単である。</li> <li>• エネルギー変換効率がよい。</li> <li>• 小さな屋根でも設置可能。</li> <li>• 太陽光発電、ソーラーシステムに比べ設置コストが安い。</li> <li>• 電力を使用しないため、停電時にもお湯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 貯湯槽が屋根に乗るため、建物の補強が必要な場合がある。</li> <li>• 外観を損ねることがある。</li> <li>• 導入後に、日照が別の建物等によりさえぎられることがある。</li> </ul>

機 器	解 説	メリット	デメリット
蓄電池 	充電により電力を蓄える電池。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停電時に電力の使用が可能。</li> <li>・昼間の太陽光発電電力や深夜電力を蓄えることができる。</li> <li>・ピークカット、ピークシフトに役立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム価格が高い。</li> <li>・充電回数に限りがある。</li> <li>・設置スペースが必要。</li> </ul>
自然冷媒ヒートポンプ給湯器 	エコキュートなどのヒートポンプ式給湯システムのこと。空気の熱を給湯に利用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力のピークシフト、負荷平準化に貢献する。</li> <li>・電気でお湯を沸かすため、オール電化の家庭に対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒冷地での使用では効率が悪くなることがある。</li> <li>・設置スペースが必要。</li> <li>・隣家等に配慮して設置場所を決める必要がある。</li> </ul>
家庭用燃料電池 	エネファームのこと。ガスなどから取り出した水素と、空気中の酸素の化学反応で発電。その際に発生する熱を給湯に利用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排熱の有効利用ができ、エネルギー効率が良い。</li> <li>・停電時にも発電する機能が付いたタイプもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム価格が高く、投資回収期間が長い。</li> <li>・設置スペースが必要。</li> <li>・隣家等に配慮して設置場所を決める必要がある。</li> </ul>



# 「雨水タンク」ってなに？

「雨水タンク」とは、建物の雨どいにつないで屋根に降った雨水を貯められるようにするタンクです。形や材質・容量もさまざまで、ニーズに応じたタンクを選ぶことができます。



## 設置するメリットは？

雨水タンクを設置すると、以下の活用や効果が期待できます。

花木の  
水やり

打ち水

非常時  
の生活  
用水

治水  
効果

このように日常的な雑用水としての活用のほか、都市の洪水防止にも寄与します。さらに、水道水の使用量が減り、水道代節約、地球温暖化防止にも貢献できます。

## 購入価格や設置工事は？

価格は1万円～10万円ほどです。購入先としては、インターネットサイトや雨水タンクメーカー、一部ホームセンターがあります。

購入者様ご自身で設置できますが、販売店や工務店等に依頼して設置することもできます。

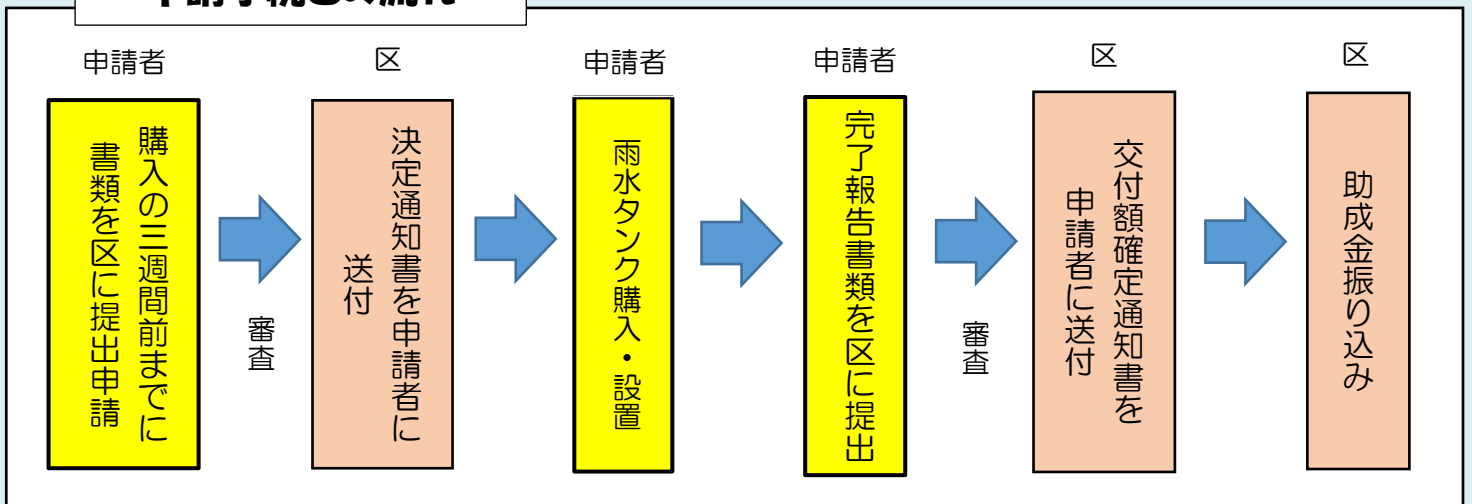
# 雨水タンクへの助成制度

## 助成の内容

対象：区民の方、区内中小企業者の方、区内管理組合の方など

助成額：雨水タンク本体価格（税抜）の**2分の1（上限2万円）**の額を助成（1000円未満切り捨て）

## 申請手続きの流れ



雨水タンク購入の**3週間前**までの**事前申請**が必要になります。

まずはお気軽にご相談ください！



問い合わせ先 環境部 環境課 温暖化対策係 区役所西棟7階1番窓口  
TEL：03-5307-0672（直通）

# 雨水浸透施設設置助成

## 助成の内容

対象：敷地面積が1,000㎡未満の個人が所有する住宅・共同住宅・長屋など（法人対象外）  
区が指定した標準構造の「浸透ます」・「浸透トレンチ」を設置すること  
屋根に降った雨水を地下に浸透させる施設

助成額：限度額40万円（助成金の単価及び、資材についてはお問い合わせください）

問い合わせ先 都市整備部 土木計画課 土木調整グループ 区役所西棟4階 1番窓口  
TEL：03-3312-2111（代表）